

連合愛知2018春季生活闘争 1万人総決起集会!!



連合愛知は、3月4日に久屋広場にて「すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう!『底上げ・底支え』『格差是正』でクラシノソコアゲ!」をスローガンに、2018春季生活闘争1万人総決起集会を開催した。

これからやマ場を迎える2018春季生活闘争において、要求実現と機運の盛り上げを図るために行われたこの集会には、連合愛知三役、構成組織からの参加者など、約1万人の参加があった。

集会に先立ち、青年委員会・女性委員会によるシュプレヒコールにより会場を盛り上げ、各構成組織旗手の登壇により集会がスタートした。

佐々木会長あいさつ(P2.参照)、大塚民進党愛知県連代表あいさつに続き、4人の代表者の決意表明、大久保副会長の「集会アピール」を読み上げ参加者全員で採択した。

最後に鶴岡会長によるガンバロー三唱で春闘勝利への意思固めを行った。

集会後は、青年委員会・女性委員会が先導役となり、参加者全員で「月例賃金を引き上げるぞ!」「働き方を見直すぞ!」「クラシノソコアゲを実現するぞ!」など、名古屋市内でシュプレヒコールを行った。

決意表明を行う構成組織代表者



△鶴岡副会長によるガンバロー三唱



青年委員会・女性委員会によるシュプレヒコール



シュプレヒコールをしながらのデモ行進



会場を埋め尽くす約1万人の参加者

佐々木会長あいさつ



佐々木会長

まず初めに、政策・制度の取り組みについてふれておきたい。連合は2月16日に「連合政策・制度フォーラム」を設立した。メンバーは、直近の選挙で連合が推薦してきた国会議員が中心となる。政党の枠に縛られず、議員一人ひとりとの関係に重きを置き、働く者・生活者の視点にたった政策・制度課題を共有し、連合の政策を前に進めていくためのプラットフォームに相当するものである。したがって今後は、連合の政策については「連合政策・制度フォーラム」を軸に進んで行くことになる。

続いて、愛知県の状況については、2月4日に「新政あいち」という政治団体が発足した。これは、県議や市町村議員が、主体となって設立したものであり、愛知県を中心にそれぞれの自治体が、より多くの仲間と一緒にになって「働く人・生活者の視点に立った政策の実現、より地域に根差した政策の実現」をめざして取り組む自治体議員の集まりである。連合愛知としても、その趣旨には大いに賛同できるものであり、連携・支援を行っていかないと考えている。また、来る統一地方選挙においては、新政あいちを軸に取り組んで行くことになる。まずは、これらの事を皆さんと共有し認識を合わせておきたい。

では、現在の取り巻く環境について申し上げる。世界経済は、株価や為替の動向など注視が必要ではあるが、底堅い回復基調が続く見通しである日本経済、更に活況が見込まれる愛知県、過去26年間で最も高い企業の業績判断指数、ここ数年低調だった物価も上昇局面にむかっているなど、どの指標を取ってみても賃上げの環境は、例年以上に整っていると言える。したがって、本年の春季生活闘争は、賃上げを実現し、それぞれがめざす姿にむけて、結果を出さなくてはならないこと、さらに、働き方についても長時間労働の是正を始めとした働き方の見直しに取り組むことが急務である。

本年の春季生活闘争のポイントは大きく3点である。

1点目は、賃上げの流れを継続・定着させることである。連合は2014年から賃上げを実現してきたが、増えた賃金は消費に回らず、社会保障料の増加分や将来へ備えた貯蓄にまわっているのが実態である。賃上げを力強く消費に繋げていくためには、社会保障と税の一体制改革の実現により、将来不安の解消を図るとともに賃上げの継続を実現しなくてはならない。賃金は上がるものだという、社会的合意を再

び定着させていくことが重要である。

2点目は底上げ・底支え、格差の是正についてである。県内企業の99.7%が中小企業であり雇用者の7割が中小企業で働いており、大手企業で働く人たちだけでなく、

中小で働く多くの仲間にも焦点を当てた取り組みを進めていかなくてはならない。昨年は、賃上げ率で初めて中小労組が大手労組を上回った。本年も引き続き大手準拠・追従といった構造からの転換を最重点に取り組んでいく。そして、その原資の確保という観点からも適性取引の推進が必要である。働く者の視点で適切に運用されているか確認していくように、構成組織の皆さんと連携して取り組んでいく。この取引の適正化は、社会全体にも広げていかなくてはならない重要な取り組みであり、連合愛知としても様々な要請を行っていく。

続いて3点目は、すべての労働者の立場にたった働き方の見直しについてである。ここ数年、長時間労働を背景として、本来生きるために働くはずが、働くことによって健康を害する、あるいは過労死、過労自殺など生命を奪われてしまうという事象が全国で多発している。また、国会で「働き方改革関連法案」についての議論がされているが、根拠としていたデータ不備が発覚し大きな問題となっている。これは許しがたい話である。連合は、裁量労働制の拡大や高度プロフェッショナル制度の導入には、当初から反対の姿勢を貫いている。引き続き連合政策・制度フォーラムの議員と連携し取り組んでいく。本春闘にて、長時間労働の是正と納得性のある処遇や不合理な労働条件の点検・改善に取り組むことが重要であり、職場の実態を熟知する労使が話し合い、働き方や労働条件の改善にむけ取り組んでいただきたい。

以上、本年の春闘では、以上の点を含め取り組み、結果を出すことが、社会から求められている。

私たちは、求められている役割を強く意識し、責任を果たしていくなくてはならない。その事が、働くことを軸とした安心社会の実現につながるものと確信をしている。すべての働く仲間が力を合わせ、結果に拘った取組みを進めて行こう。

1万人総決起集会アピール



大久保副会長による
集会アピール

連合愛知は、本日ここに「すべての労働者の立場にたって働き方を見直そう!『底上げ・底支え』『格差は正』でクラシノコアゲ!」をスローガンに、2018春季生活闘争1万人総決起集会を開催した。

日本経済は緩やかな成長が見込まれ、堅調に推移しているものの、GDPの約6割を占める個人消費は伸びていない。また、超少子高齢化・人口減少社会による人口動態の変化は、社会と経済に変革を迫るものであり、労働者を取り巻く環境は、雇用の不安、社会保障への不安、賃金の不安など様々な不安に覆われている。

こうした不安を払拭するためには、「賃金は上がるるもの」という社会的合意をもう一度日本全体に定着させ、「経済の自律的成長」という「正のスパイラル」をより高く大きく、社会の隅々まで届けていく必要がある。成長の鍵は、人への投資であり、「賃上げ」の継続が個人の家計を支えると同時に、経済や社会を発展させていくエネルギーとなる。

連合は、2018春季生活闘争において、「賃上げの拡がり」と「働

き方の見直し」を同時に推し進め、「経済の自律的成長」「包摂的な社会の構築」「人的投資の促進」「ディーセント・ワークの実現」をめざしていく。働く者全体の「底上げ・底支え」「格差は正」とともに、2016春季生活闘争より取り組んできた「大手追従・準拠などの構造の転換」と「サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配」の考え方を継続・定着・前進させていく。そして、「働き方改革」が社会全体で認識されつつある今、健全な労使関係のもと「すべての労働者の立場にたった働き方」の実現をめざした取り組みを進めていく。

私たちは、今次闘争を通じて、労使が職場の課題に真摯に向き合い取り組みを展開することで、社会全体を豊かにする春季生活闘争の重要性を社会に広げていかなければならない。連合がめざす「働くことを軸とする安心社会」を実現するため、「クラシノコアゲ応援団!RENGOキャンペーン」と連動し、すべての働く仲間とともに果敢に闘うことここに宣言する。

2018年3月8日

2018春季生活闘争連合愛知1万人総決起集会

一人ひとりが主役です。

地域の活性化には、地域の中小企業の活性化が不可欠！

2018春季生活闘争 「連合愛知 地域フォーラム」



黒瀬直宏 氏



コーディネーター
富田 珠代 氏

2018春季生活闘争1万人集会終了後、ナディアパーク3階デザインホールにて「2018春季生活闘争 連合愛知 地域フォーラム」を開催した。

本フォーラムには、構成組織・経営者団体・愛知県・政策推進議員懇談会・行政機関・報道関係者など、約330名が参加した。

冒頭、主催者を代表し佐々木会長からは「本年の春季生活闘争は、『賃上げの流れを継続・定着させる』『底上げ・底支え、格差是正』『すべての労働者の立場にたった働き方の見直し』この3点がポイントとなる。特に中小労組・未組織の労働者まで賃上げを波及させることが必要であり、連合愛知としても重点的に取り組んでいる。その一つの取り組みが本フォーラムで



YES・NO冊子を掲げる参加者の皆さん



パネリスト:左から、神津 里季生氏(連合本部会長)
山田 博比古氏(愛知県中小企業同好会副会長)
木戸 英博氏(JAM東海執行委員長)
青木 大久美氏(中部経済産業局産業部長)

あり、中小労組を元気にするための方策について、参加者皆さんと理解を深めていきたい。」と挨拶があった。

基調講演は、嘉悦大学大学院ビジネス創造研究科 教授・博士の黒瀬直宏氏より「中小企業の人材難の克服に向けて」と題し、中小企業が置かれている状況と課題、人材確保ができる中小企業の取り組み紹介と、今後日本全体として、どのような取り組みが必要か講演を頂いた。

その後のパネルディスカッションでは、連合本部 総合労働局長 富田珠代氏をコーディネーターに「地域の活性化には、地域の中小企業の活性化が不可欠～中小企業の賃上げにむけた取引の適正化と働き方改革の実現に向けて～」をテーマに、サプライチェーン全体で生み出した付加価値の適正分配や、すべての労働者の立場にたった働き方の実現について、労働者団体・中小企業経営者団体・行政機関など各視点からの討論が行われた。

なお、パネルディスカッションでは、「下請けガイドラインを知っていますか?」など、参加者へ質問を行いYES・NO冊子を掲げてもらうなど参加型のフォーラムとした。

粘り強い交渉で働く仲間の待遇改善を！

2018中小労組学習会を開催



牧田中小共闘センター
委員長あいさつ

2018春季生活闘争において中小労組を支援するべく、連合愛知は1月24日の第1回闘争委員会にて中小闘争センターを立ち上げ、交渉支援を行うための「中小労組学習会」を2月10日に開催した。

冒頭、牧田中小共闘センター委員長より「昨年の春闘では中小企業の賃上げ率が大手を上回る結果であった。2018春季生活闘争では昨年の流れを継続し前進させるために、中小共闘センターでは、中小労組の取り組み支援をしていく」との挨拶があった。

学習会では、連合本部 藤川労働条件・中小労働対策局長より2018春闘における中小共闘方針や賃金把握の必要性について説明を頂いた。また、連合愛知 浜労働政策局長より

中小共闘センターの取り組みについて説明を行った。その後、事例報告として、JAM(旭テックメタル労組)、基幹労連(富士岐工産名古屋支店労組)、UAゼンセン(ブライヤー販売労組)、セラミックス連合(美濃窯業新労組)から昨年度の春闘交渉内容や取り組み過程について報告を受け、全体で共有を図った。

最後に、連合愛知 木戸中小共闘センター副委員長のガンバロー三唱で全体の決意を固め終了した。



ガンバロー三唱

働く仲間の不安・悩みの解消へ

全国一斉労働相談ダイヤルを実施

連合の全国一斉労働相談ダイヤルに伴い、連合愛知は2月8日～10日の3日間わたり労働相談ダイヤルを実施した。

今回は「働き続けたい!なぜ辞めなければならぬの!?STOP雇止め・雇用不安!連合労働相談ホツ

トライン」をテーマとして実施し、3日間で136件の相談が寄



街頭宣伝行動の様子



労働相談ダイヤルの様子

せられた。特にテーマに掲げている無期転換ルールや雇止めに関わる相談件数は22件であった。寄せられた相談に対し、連合愛知ならびに11地協役員が相談役として、アドバイスや労働契約法の解説など真摯に相談に応じた。

また、2月8日からの全国一斉労働相談ダイヤルの開催に合わせ、栄メルサ前・金山総合駅の他、地協の協力を得ながら愛知県下18カ所で街頭宣伝行動およびポスティングを実施し、労働相談ダイヤルの実施とともに無期転換ルールについて周知を図った。

連合愛知は、今後も「労働相談ダイヤル(0120-154-052)」において、すべての働く仲間の不安や悩みに応えるとともに、組織化を含めた助言や支援を続けていく。

次代を担う役員の育成

第1回青年委員会学習会（女性委員会合同）を開催

連合愛知青年委員会は、2月17日に第1回青年委員会学習会を女性委員会と合同で開催した。

学習会では第1部として「男女平等参画社会の実現にむけて」と題し、参議院議員の伊藤孝恵氏より、議員を志したきっかけや超少子高齢化の進展による日本が置かれている状況について説明をいただくとともに、現場の声が政



第1部 参議院議員
伊藤孝恵氏

元吉本芸人でWMcommonsの正嶋秀信氏に、相手の気持ちを理解し、そこから人間関係を築くうえで必要なスキルを心理学も含め説明を受け、参加者全員で実践を交えながら理解を深めた。

最後に、連合愛知 佐々木会長との対話会を行い、各委員から「組合員の組合活動への参画・理解」「女性役員の配置」「組合役員としての働き方」など活動するうえでの課題について質問が出され、会長からの助言も含め意見交換を行った。



治へ繋がった実例を交え、労働組合が持つ役割の重要性についてご講演をいただいた。第2部では、「気付くが築く!『究極のコミュニケーション術』」と題し、

第2部 WMcommons 正嶋秀信氏

集合写真

あなたのやさしさが広げる大きな支援の輪

第26回「連合愛知助け合い運動」によるカンパ金寄託式



岡谷会長より感謝状を受け取る
連合愛知 佐々木会長

連合愛知は2月20日、愛知県社会福祉会館にて「連合愛知助け合い運動カンパ金寄託式」を行った。

「連合愛知助け合い運動」は、本年で26回目を迎え、連合愛知構成組織の協力を得て集められたカンパ金を愛知県共同募金会に寄託し、民営小規模施設等の設備費や在宅福祉サービス関連車両整備費、就労支度支援事業などに役立てている。

冒頭、連合愛知・愛知県労福協を代表し佐々木会長から連合愛知および愛知県労働者福祉協会

の取り組みを紹介し、「連合愛知の構成組織と労福協のご協力により、多くのカンパ金が集まった。このカンパ活動は、集まった寄付金が自分たちの地域で使われることから、より身近に社会貢献を実感できる取り組みでもある。今後も引き続き共同募金会と連携しながら、助け合いの精神を大切にした活動に取り組んでいく」と述べられた。

続いて、連合愛知・労福協の寄付金をそれぞれ愛知県共同募金会の岡谷会長に寄託し、愛知県共同募金会からは感謝楯および感謝状の贈呈を受けるとともに、活動に対する理解と協力に対するお礼の言葉を述べられ閉会した。

今年度の寄託金は3766万8090円となり、1992年から継続している共同募金会に寄託したカンパ金総額は10億1173万2217円となった。構成組織・加盟組合の皆様のご理解とご協力に深く感謝申し上げます。



連合愛知 青年委員会の活躍紹介

このコーナーでは、連合愛知青年委員の組合活動や職場での様子などを紹介します。

上田 憲司 青年委員会副委員長

私は運輸労連全日通労組に所属しているトラックドライバーです。トラックドライバーと聞くと長距離運転手や宅配サービスなどを思い浮かべると思いますが海運や航空、鉄道を利用した運搬や倉庫業など物流に関係している様々な企業が運輸労連に加盟しています。私の場合は、主に現金や重要な書類など貴重品の運搬を行っています。

今回は「運輸労連青年女性全国交流集会」について紹介したいと思います。昨年で45回目となったこの集会では運輸労連に加盟している全国の各単組や各機関から、72名の仲間たちが集まり農業体験やスポーツ交流、学習を通して単組の枠を超えた交流を深め労働運動の継承と次世代のリーダーを

育成することを目的に開催しています。

学習会ではグループディスカッションを行い各単組の現状について意見交換を行いました。意見交換の結果、我々運輸業を取り巻く賃金制度や長時間労働に関する問題は、現在でも全国規模の大きな課題である事を再度認識しました。

今後も全国の仲間達と学習会や交流会などで繋がりを深め、若年層の力を一致団結させ組合活動の活性化に微力ながらも貢献していきたいと思います。



上田 憲司
青年委員会副委員長
運輸労連 全日通労働組合

第5回 執行委員会

2018年2月23日

確認事項

- 1.当面の日程について
- 2.地方アドバイザー業務委託の更新について
- 3.1万人総決起集会アピール（案）、シュプレヒコールについて
- 4.「連合愛知Webアンケート」調査結果について（別冊）
- 5.連合愛知ラジオ番組の実施について
- 6.愛知労働局との意見交換会の開催について
- 7.特定（産業別）最低賃金 新設および改正の申し出意向表明について
- 8.連合愛知「労働審判員（新任研修会）」の開催について
- 9.ワーカルール学習会の開催について
- 10.エネルギー・政策関連施設視察会の実施について

11.女性役員意見交換会の開催について

12.連合愛知平和4行動の派遣について

議 事

- 1.各種審議会・委員会等への派遣について
- 2.あま市長選挙に伴う候補者推薦について
- 3.春日井市長選挙に伴う候補者推薦について
- 4.清須市議会議員選挙に伴う候補者推薦について
- 5.北名古屋市議会議員選挙に伴う候補者推薦について

そ の 他

1. 地域安全対策ニュース

あなたの職場で働くすべての人と家族の こころの相談室 心の相談室

電話相談 052(618)7831
専用電話 月／15:00～19:00 水／12:00～19:00 金／16:00～20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。
面接相談 場所／（社）日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です（1回の面接時間は1時間以内）。2回目までの相談は
無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

ZENROSA NEWS



な や み い ち ば ん
052(618)7831
専用電話 月／15:00～19:00 水／12:00～19:00 金／16:00～20:00
※祝祭日を除く。相談料は無料ですが、電話料は相談者負担となります。
面接相談 場所／（社）日本産業カウンセラー協会中部支部
※事前の予約が必要です（1回の面接時間は1時間以内）。2回目までの相談は
無料で、3回目以降は1回当たり1,000円を相談者に負担して頂きます。

**火災はもちろん、台風・地震など
自然災害にも備えられる
「住まいと家財の保障」。**

全労済は、営利を目的としない保障の生協として共済事業を営み、組合員の皆さまの安心とゆとりある暮らしをめざしています。出資金をお支払いいただいて組合員になれば、各種共済をご利用いただけます。

全労済

全国労働者共済生活保障連合会連合会

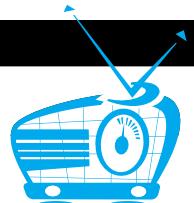
ZIP-FM CMスタート!!

1月より、ZIP-FMにて毎週金曜日（7:21）に連合愛知CMが放送されます。お仕事へむかう車の中や、スマートフォン用ラジオアプリ「radiko（ラディコ）」等で、ぜひお聴き下さい。

連合愛知ラジオCM

ZIP-FM77.8

毎週金曜日7:21（約20秒間）



連合愛知Facebook

パソコンから

<https://www.facebook.com/rengoaichi/>

携帯から

あなたの「いいね」が社会に向けた世論喚起につながり、
あなたの「シェア」が大きな力となります。



連合愛知ホームページ

<http://www.rengo-aichi.or.jp/>